



(左から)大澤 菜穂子取締役、星野市長、大澤 仁代表取締役



市長の事業者訪問

FACE to FACE 34

大澤 仁さん・菜穂子さん
(有)大澤洋蘭園 (大字勝瀬1078番地)



胡蝶蘭を専門に生産・販売する大澤仁さんと菜穂子さんご夫婦に就農のきっかけや農業経営について伺いました。

富士見育ちの誇り こだわりの胡蝶蘭

人生の節目を彩る胡蝶蘭。その一鉢一鉢に、富士見市で育まれた確かな技術と想いが込められています。菜穂子さんは就農のきっかけについて「幼少期から親の働く姿を見て育つ中で、自然と家業を“継ぐ”意識が芽生えました」と語ります。一方で仁さんは「元会社員でしたが、子どもが生まれて、家族と過ごす時間をより大切にしたいという思いが強くなった」と振り返り、現在まで先代を含め40年間洋蘭の生産に取り組んできました。現在は、自社温室5棟で国内外から厳選した苗を仕入れ、温度や湿度、日照を毎日細かく管理しています。「よく伸びるがしおれるのが早くなるホルモン剤は使用せず、花もちが良くなるよう苗が本来持っている力で育てています」と語ります。愛情と手間をかけ、さらに出荷前に手作業で1本1本支柱を立てて仕上げていきます。「ギフト用は贈る方の

想いを伝え、贈った方にもお喜びいただけるよう、一つ一つ丁寧に対応しています」と語り、想いを大切に作る姿勢が、こだわりの逸品を作り上げています。また、本市のふるさと納税の返礼品としても多くの方に選ばれており、富士見育ちの胡蝶蘭が全国各地へ届けられています。

ネット販売で農業経営の新しいカタチ

経営の大きな転機は2014年。「市場出荷だけではなく、ECサイト(ネット販売の総称)に挑戦しました」と仁さん。メリットは「手頃な価格で新鮮なものを全国に最短でお届けできます」と語る一方で、顔が見えない取引は苦労も多いと言います。今後について「AI技術を活用して効率化も考えていますが、最後は人の手によるきめ細かな対応が大切」と語ります。対面販売を行う温室には、大澤さんご家族と従業員の想いが幾重にも重なった美しい胡蝶蘭が並べられています。

今回の訪問では、先進的な取り組みと手作業を融合し、新しい農業のカタチとは何かを考えるきっかけとなりました。

■市公式
ホームページ



■ SNS



LINE
Facebook
X(旧Twitter)
Instagram
YouTube



【カタログポケット】広報『富士見』を多言語で



【マチイロ】広報『富士見』をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴



Fujimist募集

市内在住、富士見市出身の方などで活躍されている方を募集しています。自薦・他薦は問いません。



みんな笑顔☆ふじみ ☎ 049-251-2711(代)

富士見市

FAX 049-254-2000

〒354-8511

富士見市大字鶴馬1800-1



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

